



掲載内容

01 株主の皆さまへ／連結業績ハイライト

03 セグメント別業績概況

07 連結財務諸表

09 特集

「Yakult(ヤクルト)1000」全国展開!

11 コラム

「ヤクルトグループ 環境ビジョン」を策定

読んで納得!

ヤクルトグループのCSR

13 商品紹介

19 ヤクルトのネットワーク

21 会社情報

特集

「Yakult(ヤクルト)1000」全国展開!

株式会社ヤクルト本社

第69期 株主通信

2020年4月1日 ~ 2021年3月31日

機能性表示食品

ヤクルト史上最高密度の
乳酸菌 シロタ株

ストレス緩和
睡眠の質*向上
腸内環境改善



ごあいさつ



代表取締役社長
成田 裕

株主の皆さまにおかれましては、平素より当社事業へのご支援およびご厚情を賜り、心よりお礼申し上げます。

2021年6月23日をもちまして、代表取締役社長に就任いたしました。当社の企業理念の実践を通じ、社業のさらなる発展に努めてまいりたいと思います。今後とも何卒ご支援とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

ここに、2020年4月1日から2021年3月31日までの経営成績につきまして、連結の業績を中心にご報告申し上げます。

2021年6月



私たちは、生命科学の追究を基盤として、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献します。

当期について

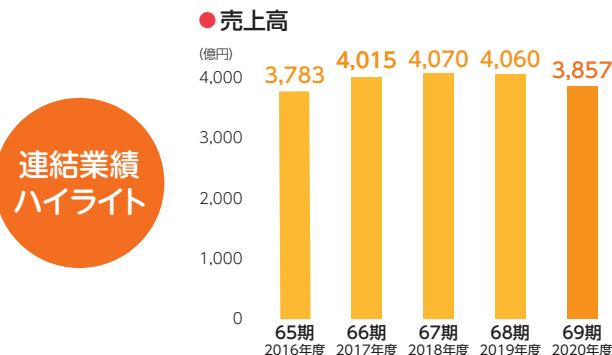
当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経済活動の抑制により、景気が急速に悪化するなど、大きな影響を受けました。各種政策の効果や海外経済の改善もあり、先行きに持ち直しの動きが期待されていますが、国内外の感染再拡大が経済を下振れさせるリスクを注視する状況が続いています。

このような状況の中で、当社グループは、事業の根幹であるプロバイオティクスの啓発・普及活動を展開し、商品の優位性を訴求してきました。また、販売組織の拡充、新商品の研究開発や生産設備の更新に加え、国際事業や医薬品事業にも積極的に取り組み、業績の向上に努めました。

この結果、当連結会計年度の連結売上高は3,857億円(前期比5.0%減)となりました。利益面においては、営業利益は436億円(前期比4.3%減)、経常利益は576億円(前期比1.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は392億円(前期比1.2%減)となりました。

次期について

日本国内における乳製品につきましては、引き続きヤクルト類を重点ブランドとし、「乳酸菌 シロタ株」の科学性を訴求するとともに、「ヤクルト400」シリーズおよび高付加価値商品である「Yakult(ヤクルト)1000」を中心に、変化する環境に対応しながら「価値普及」活動を推進することで乳製品全体のブランド活性化を図ります。宅配チャネルにおいては、本年4月に「Yakult(ヤクルト)1000」の販売地区を全国に拡大するとともに、利用者数が増加しているインターネット注文サービス「ヤクルト届け



てネット]を活用することで、新たなお客さまとの接点づくりに努めます。また、店頭チャネルにおいては、感染症予防に伴うお客さまの健康意識の高まりに対し、マーケットごとに環境の変化に対応することで、「Newヤクルト」および「Newヤクルトカロリーーフ」を中心とした乳製品の売り上げの増大を目指します。清涼飲料につきましては、消費者の外出自粛等により新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが予想されますが、主力ブランドである「タフマン」シリーズ等の健康飲料の販売を引き続き強化し、売り上げの増大を目指します。これらに加え、ヤクルトレディの仕事の魅力の向上と認知拡大に取り組むなど、宅配組織の強化にも注力します。そのほか、今後成長が期待されるマーケットへの対応力を高め、売り上げの増大に努めていきます。

海外につきましては、既存事業所のさらなる事業の拡大、財務体質の強化および収益性の向上を図ります。特に、ベトナム、インド、中国、米国および中東地域などの事業所については、経営基盤の強化と事業の成長を推進していきます。

医薬品につきましては、国内売上においては、本年4月の薬価改定における薬価引き下げの影響により減収となる見込みですが、徹底した経費の見直しにより営業利益の確保を図ります。

	当期	次期の見通し
売上高	3,857億円(前期比 5.0%減)	4,085億円
営業利益	436億円(前期比 4.3%減)	500億円
経常利益	576億円(前期比 1.5%減)	600億円
親会社株主に帰属する当期純利益	392億円(前期比 1.2%減)	410億円

なお、次期の見通しを作成するにあたって、現在、日本をはじめ多くの国において新型コロナウイルス感染症が収束していない状況ですが、当社主力事業である飲料および食品製造販売事業部門では、一部の国で販売活動が制限されている地域があるものの、概ね通常の販売活動を継続しています。感染症の影響等により消費が低迷している国がある一方、感染予防意識の高まり等により販売本数増加を見込む国もあり、海外全体としては前期並みの販売本数を見込んで業績予想を算出しています。

その他事業部門に含まれるプロ野球興行につきましては、昨年に引き続き入場者数が制限される等の影響を受けており、利益面では昨年と同程度の業績を想定して作成しています。

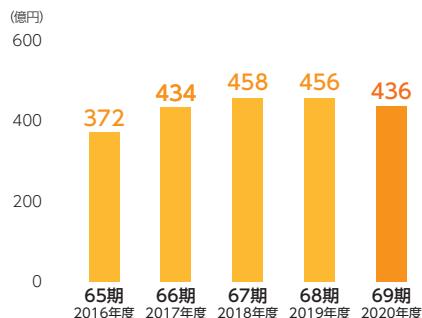
配当について

当社は、株主の皆さまに、安定的な配当を継続して実施していくことを最優先とするため、配当金額のベースを年額30円とし、そのうえで、将来の事業拡大や収益向上を図るための資金需要および財政状況ならびに当期の業績などを総合的に勘案して配当金額を決定しています。

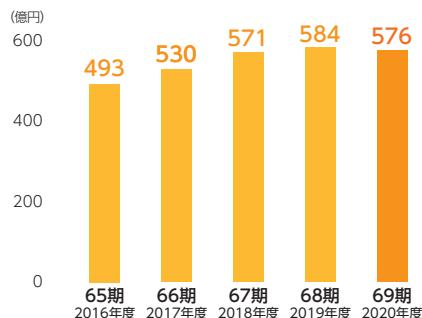
上記方針のもと、継続して株主の皆さまへの利益還元を図るため、2021年3月期の年間普通配当金額は、前期に比べて1株当たり6円増配の年額52円としました。すでに中間配当金26円を実施していますので、2021年3月期末の配当金については26円となります。

次期以降の配当については、ベース金額を設定することなく継続的な増配を目指すことを最優先とする配当方針に変更し、将来の事業拡大や収益向上を図るための資金需要および財政状況ならびに当期の業績などを総合的に勘案して配当金額を決定します。この方針のもと、2022年3月期の配当金額は、当期に比べて1株につき10円増配の年額62円を予定しています。

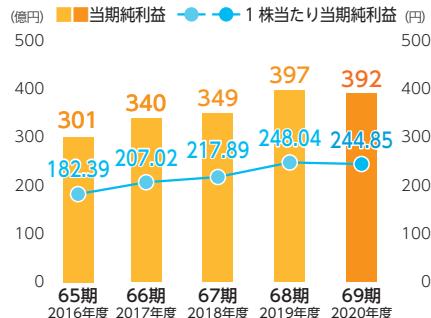
● 営業利益



● 経常利益



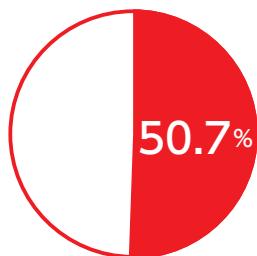
● 親会社株主に帰属する当期純利益 / 1株当たり当期純利益



Financial Result by Segments

※セグメント別の売上高構成比は、セグメント間売上高の消去前金額に対する構成比です。

飲料および食品製造販売事業部門（日本）



売上高構成比

当期

売上高

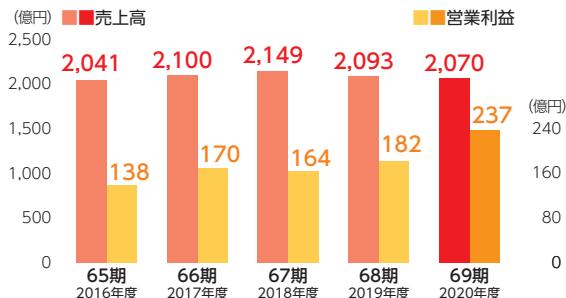
2,070 億円

(前期比: 1.1% ↓)

営業利益

237 億円

(前期比: 30.5% ↑)



乳製品につきましては、当社独自の「乳酸菌 シロタ株」や「ビフィズス菌 BY株」などの科学性を広く普及するため、新型コロナウイルス感染症に対するお客さまおよび従事者への感染拡大防止策を講じながら、地域に根ざした「価値普及」活動を積極的に展開しました。

宅配チャネルにおいては、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト400W」を含む「ヤクルト400」類および「Yakult(ヤクルト)1000」を中心に、お客さまのニーズに対応したお届け方法を通じて、既存のお客さまへの継続飲用を促進するとともに、新規のお客さまづくりに努めました。また、インターネット注文サービス「ヤクルト届けてネット」については、積極的な広告展開を実施したことで認知度が向上し、利用者数、売り上げがともに増加

しました。

店頭チャネルにおいては、試飲宣伝による「価値普及」活動を自粛するなどの影響が生じたものの、お客さまの健康維持への備えとして乳酸菌に対する期待感が高まり、乳製品乳酸菌飲料「Newヤクルト」および「Newヤクルトカロリーーフ」の需要が増加しました。

清涼飲料につきましては、栄養ドリンク「タフマン」シリーズについて、昨年10月に亀梨和也さんを起用したテレビCMを放映するとともに消費者キャンペーン等を実施し、ブランドの活性化による売り上げの増大に努めました。しかしながら、事業所やレジャー施設の営業自粛や休業の影響で、自動販売機を中心に売り上げが減少しました。

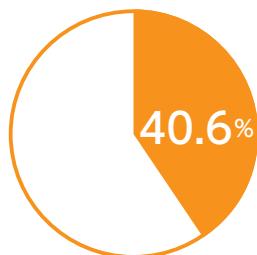
News & Topics 2021

「ヤクルト400W(ダブル)」の販売地区を拡大

機能性表示食品「ヤクルト400W」は、これまで九州・中国・四国・近畿地区全域と富山県、石川県、福井県、岐阜県、愛知県、三重県での限定販売としていましたが、好評につき、2021年5月31日より販売地区を関東1都6県に拡大しました。「ヤクルト400W」に含まれる「乳酸菌 シロタ株」と「ガラクトオリゴ糖」には、「良い菌(乳酸菌、ビフィズス菌)を増やして腸内の環境を改善し、お通じを改善する機能があること」が報告されています。



飲料および食品製造販売事業部門 (海外)

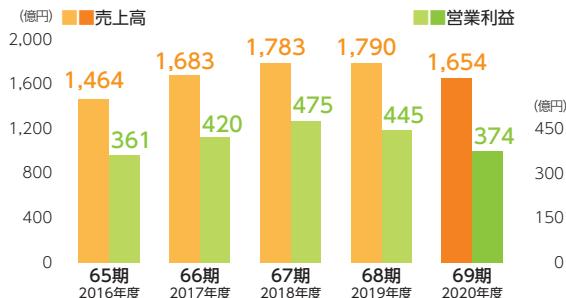


売上高構成比

当期

売上高
1,654 億円
(前期比: 7.6% ↓)

営業利益
374 億円
(前期比: 16.0% ↓)

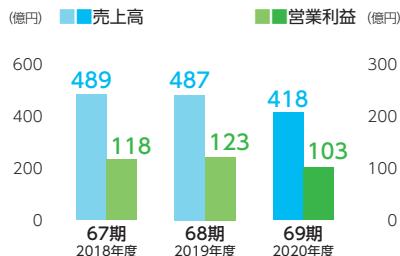


米州地域

売上高 **418** 億円 (前期比: 14.1% ↓)

米州地域においては、ブラジル、メキシコおよび米国で乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売しています。

同地域では、宅配・店頭の両チャネルにおける販売体制強化を図り、売り上げの増大に努めました。

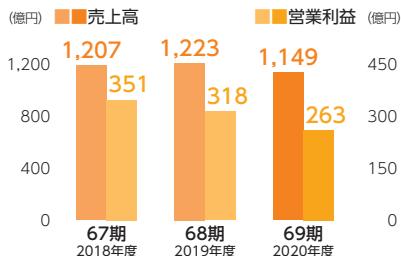


アジア・オセアニア地域

売上高 **1,149** 億円 (前期比: 6.0% ↓)

アジア・オセアニア地域においては、香港、シンガポール、インドネシア、オーストラリア、マレーシア、ベトナム、インド、ミャンマーおよび中国などで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売し、アラブ首長国連邦(UAE)などでは「ヤクルト」などを輸入販売しています。

中国においては、昨年、無錫第2工場の建設を開始するとともに、販売拠点を49か所に拡大し、さらなる販売体制の強化を図りました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や天候不順等により、売り上げに影響を受けました。

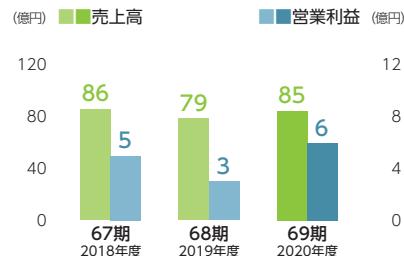


ヨーロッパ地域

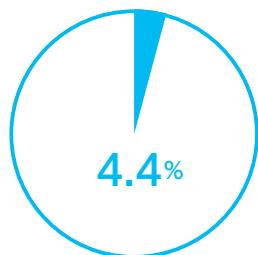
売上高 **85** 億円 (前期比: 7.9% ▲)

ヨーロッパ地域においては、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などをオランダで製造し、同国を含め、ベルギー、イギリス、ドイツ、オーストリアおよびイタリアなどで販売しています。

ヨーロッパにおいては、プロバイオティクスを普及するための活動に対する厳しい規制の中で、健康強調表示(ヘルスクレーム)の承認に向け、各種の取り組みを行っています。このような状況の中、各国事業所による市場特性に合った販売活動の展開により、持続的成長を目指しました。



医薬品製造販売事業部門



売上高構成比

当期

売上高

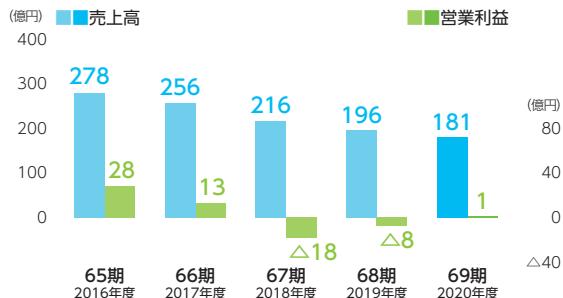
181 億円

(前期比: 7.9% ↓)

営業利益

1 億円

(前期比: - ↑)



医薬品につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う医療機関への訪問自粛の対応としてウェブ会議等を活用し、がんおよびその周辺領域に特化した当社製品の啓発活動や適正使用を推奨する活動を推進しました。

当社の主力製品である抗悪性腫瘍剤「エルプラット」については、後発医薬品へ切り替える医療機関が増加傾向にあるものの、先発医薬品を開発した当社の強みである情報提供力や医療関係者との信頼関係を活かし、引き続き「エルプラット」を選択してもらうための活動を展開しました。また、日本セルヴィエ社とのプロモーション契約に基づき、昨年6月に発売された抗悪性腫瘍剤「オニバイド®」(イリリノテカン塩酸塩水和物 リポソーム製剤)については、プロモーション活動を積極的に行っ

た結果、速やかに市場導入を図ることができました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、入院や手術の延期、受診抑制等により当社製品の使用機会が減少したことに加え、昨年4月に実施された薬価改定において大半の当社製品の薬価が引き下げられたことにより、売りに影響を受けました。

一方、研究開発においては、セキュラ・バイオ社(米国)から日本における開発および商業化に関する独占的ライセンスを受けているPI3K阻害剤「デュベリシブ」や、4SC社(ドイツ)から導入しているHDAC阻害剤「レスミノスタット」等の開発品目の臨床開発を推進しました。

News & Topics 2021

「ストレス・睡眠と腸の健康意識調査」を実施

このたび全国47都道府県別の20代~60代の働く男女9,400人を対象に「ストレス・睡眠と腸の健康意識調査」を行いました。『腸年齢チェックシート』*を使い、おおよその腸年齢を把握し調査をしたところ、腸年齢が「実年齢より若い」人は「ストレス」や「睡眠悩み」が少ない傾向にありました。都道府県別にみた、腸年齢が「実年齢より若い」割合は「山梨県」が最も高く、ついで「東京都」、同率3位が「鳥取県」「大阪府」「福島県」でした。

*監修: 辨野義己先生(一般社団法人「辨野腸内フローラ研究所」)

その他事業部門



売上高構成比

当期

売上高

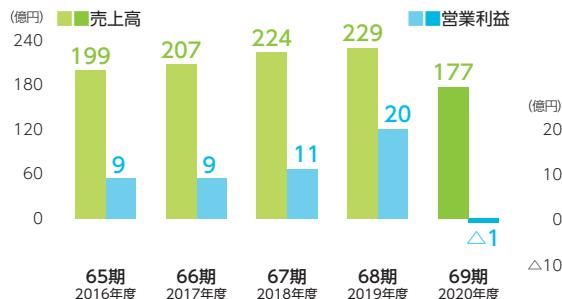
177 億円

(前期比: 22.7% ↓)

営業利益

△ 1 億円

(前期比: - ↓)



その他事業部門には、化粧品の製造販売およびプロ野球興行などがあります。

化粧品につきましては、当社が創業以来培ってきた乳酸菌研究から生まれたオリジナル保湿成分「S.E.(シロタエッセンス)」の「価値普及」活動に重点をおき、お客さまの「内外美容」の実現と化粧品愛用者数の増大に努めました。

具体的には、保湿効果の高い基礎化粧品「ラクトデュウ」シリーズについて、昨年7月に新商品2品を発売しラインアップを強化するとともに、テレビCM放映等の広告展開により、売上げの増大に努めました。また、本年1月には「ヤクルト アロマモイスト ハンドクリーム」を発売し、お客さまとの接点拡大を図りました。

さらに、昨年7月から、中国における電子商取引(EC)ショッピングサイト「天猫国際(Tmall Global)」を通じたインターネット販売を開始し、中国市場での認知度の向上を図りました。

これらにより、化粧品全体としては、前期を上回る実績となりました。

一方、プロ野球興行につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、無観客または入場者数を制限したうえで試合開催を余儀なくされるなどの影響を受けましたが、安心して観戦していただける環境づくりと各種ファンサービスを通じて、皆さまの期待に応えるべく努めました。

「健康経営優良法人～ホワイト500～」に4年連続で認定

経済産業省が日本健康会議と共同で推進している「健康経営優良法人(大規模法人部門)～ホワイト500～」に当社が4年連続で認定されました。「健康経営優良法人」に認定された企業の中でさらに上位500社が「ホワイト500」に認定されます。今回は、健康経営を推進するための体制の確立、e-learningによる健康講座の実施など、従業員の健康への経営的な取り組みが評価されての認定となりました。



Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

単位：億円

科目	第68期 2020年3月31日現在	第69期 2021年3月31日現在
資産の部		
流動資産	2,658	2,668
固定資産	3,620	3,683
有形固定資産	2,039	2,030
無形固定資産	44	53
投資その他の資産	1,536	1,598
資産合計	6,278	6,351
負債の部		
流動負債	1,090	935
固定負債	1,067	1,017
負債合計	2,157	1,953
純資産の部		
株主資本	3,976	4,306
資本金	311	311
資本剰余金	414	409
利益剰余金	3,799	4,113
自己株式	△549	△527
その他の包括利益累計額	△242	△257
その他有価証券評価差額金	199	247
為替換算調整勘定	△401	△484
退職給付に係る調整累計額	△40	△20
非支配株主持分	387	348
純資産合計	4,120	4,397
負債・純資産合計	6,278	6,351

連結損益計算書

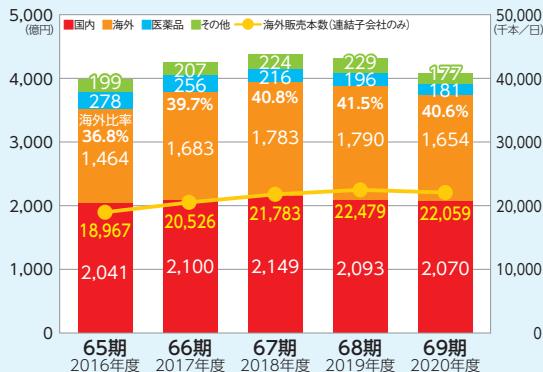
単位：億円

科目	第68期 2019年4月1日から 2020年3月31日まで	第69期 2020年4月1日から 2021年3月31日まで
売上高	4,060	3,857
売上原価	1,713	1,588
売上総利益	2,346	2,268
販売費及び一般管理費	1,889	1,831
営業利益	456	436
営業外収益	147	153
受取利息	54	37
受取配当金	20	20
持分法による投資利益	50	39
為替差益	—	26
その他	21	31
営業外費用	19	14
支払利息	8	7
その他	10	7
経常利益	584	576
特別利益	27	45
固定資産売却益	1	2
投資有価証券売却益	25	37
その他	0	5
特別損失	24	27
固定資産除却損	7	4
減損損失	4	4
投資有価証券評価損	9	6
新型コロナウイルス関連費	—	11
その他	2	1
税金等調整前当期純利益	587	593
法人税、住民税及び事業税	146	152
法人税等調整額	△7	6
当期純利益	448	434
非支配株主に帰属する当期純利益	51	42
親会社株主に帰属する当期純利益	397	392

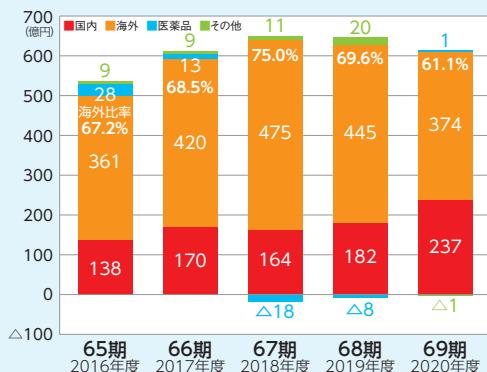
第69期のポイント

- ◆ 全体(減収・減益)
- ◆ 国内飲料(減収・増益)
 - ・乳製品:新製品(Yakult1000等)の導入効果および販売数量増
 - ・清涼飲料等:新型コロナウイルスによる販売数量減
- ◆ 海外飲料(減収・減益)
 - ・販売数量減
 - ・円高による為替のマイナス影響等
- ◆ 医薬品(減収・増益)
 - ・薬価改定の影響
 - ・営業活動自粛等に伴う経費減

売上高推移(連結) (注)セグメント間売上高の消去前金額で表示しています。



営業利益推移(連結) (注)全社費用等の調整前金額で表示しています。



連結キャッシュ・フロー計算書

単位:億円

科目	第68期	第69期
	2019年4月1日から 2020年3月31日まで	2020年4月1日から 2021年3月31日まで
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	627	558
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	△160	△196
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△256	△312
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△67
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	213	△17
現金及び現金同等物の期首残高	1,031	1,245
現金及び現金同等物の期末残高	1,245	1,227

キャッシュ・フローのポイント

- ① 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益593億円、減価償却費221億円があった一方、法人税等の支払額が148億円あったこと等により、558億円(前期比69億円の収入減)となりました。
- ② 投資活動によるキャッシュ・フローは、主に定期預金の預入や生産設備の増設等による固定資産の取得があったことにより△196億円(前期比35億円の支出増)となりました。
- ③ 財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入金の返済や配当金の支払い等があったことにより△312億円(前期比56億円の支出増)となりました。

- より詳細な財務情報は、当社ホームページの「IR情報」で各種資料がご覧いただけます。

<https://www.yakult.co.jp/company/ir/>

ヤクルト IR情報

検索

Special Features

「Yakult(ヤクルト)1000」全国展開!

おかげさまで多くのお客さまに支えられ、販売絶好調の「Yakult(ヤクルト)1000」。
このたび2021年4月5日から販売地区を全国に拡大しました。
一人でも多くのお客さまに商品の機能を体感していただくため、
販売に注力してまいります。



ヤクルト Yakult 1000 ヤクルト史上最高密度

乳酸菌
シロタ株
1000億個

一時的な精神的ストレスがかかる状況での

ストレスの緩和

睡眠の質向上

腸内環境改善



「Yakult(ヤクルト)1000」機能性エビデンスの詳細
サイエンスレポート No.34

「精神的ストレス状況下でのL・カゼイ・シロタ株の摂取効果」

「Yakult(ヤクルト)1000」の届出表示

本品には乳酸菌 シロタ株 (L・カゼイ YIT 9029) が含まれるので、一時的な精神的ストレスがかかる状況でのストレスをやわらげ、また、睡眠の質(眠りの深さ、すっきりとした目覚め)を高める機能があります。さらに、乳酸菌 シロタ株 (L・カゼイ YIT 9029) には、腸内環境を改善する機能があることが報告されています。

機能性表示食品

食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。本品は、特定保健用食品と異なり、消費者庁長官による個別審査を受けたものではありません。本品は、疾病の診断、治療、予防を目的としたものではありません。

ヤクルト商品のお問い合わせ

ヤクルトお客さま相談センター

 **0120-11-8960**

(受付時間 10:00~16:00)

(土日・祝日・夏季休業・年末年始等を除く)

携帯電話からはナビダイヤル0570-00-8960へお願
いします。(通話料お客さまご負担:20秒ごとにおよそ10円)
※時間を短縮しております。

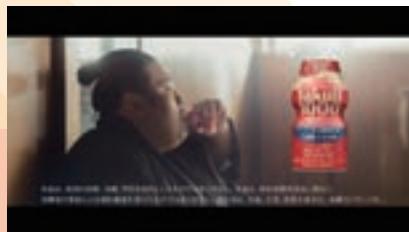
多くのお客さまから
ご好評をいただ
いております。

ぜひお試しください。

(本品は宅配専用商品です)

豪華キャストで/
テレビCMも

放映中!



貴景勝 関



川口春奈さん

お客さま や ヤクルトレディ の
お声をご紹介します!

お客さまの声*

会社で働いているので
「ストレス緩和」という
ことばに惹かれました。

お客さまの声*

大事な会議の前など
眠れないことが多いので
購入してみました。

ヤクルトレディの声

お伝えしていく中で、
ストレスや睡眠で悩んで
いらっしゃる方が多く、
驚きました。

ヤクルトレディの声

「Yakult(ヤクルト)1000」に
興味があるお客さまが
多くいらっしゃることを
実感しています。

(小笠原諸島)

(沖縄)

※出典：「Yakult(ヤクルト)1000」消費者調査 (2020年1月)

「ヤクルトグループ 環境ビジョン」を策定

環境問題に対するヤクルトの考え方、2050年のあるべき姿とその実現に向けた道標を示しました。

温室効果ガス排出量ネットゼロを具体策とした

「人と地球の共生社会を実現するバリューチェーン環境負荷ゼロ経営」を目指し、バックカスティング思考に基づいた中期的・短期的マイルストーンを掲げ、サステナブル経営を推進していきます。

「ヤクルトグループ 環境ビジョン」の詳細は特設サイトをご覧ください。
<https://www.yakult.co.jp/csr/environment/vision/>




● サステナビリティを高めるための6つのマテリアリティ（重要課題）

 <p>イノベーション</p> <p>ヘルスケアカンパニーへの進化、菌の科学性の追究、新商品・サービスの提供、資源の有効活用等</p>	 <p>地域社会との共生</p> <p>地域に密着したつながり、健康情報のお届け、「安全・安心」な健康商品の提供等</p>	 <p>サプライチェーンマネジメント</p> <p>取引先との健全なつながり、CSR調達の推進、原材料の安定調達等</p>
<p>▼環境に関わるマテリアリティについて、目標を定め段階的に取り組んでいきます。</p>		
 <p>気候変動</p> <p>温室効果ガス排出量削減(脱炭素)、再生可能エネルギーの積極的導入、省エネ活動への取り組み等</p>	 <p>プラスチック容器包装</p> <p>資源循環できる容器包装への転換、容器包装の素材変更による環境負荷低減等</p>	 <p>水</p> <p>持続可能な水資源の使用、水使用量削減への取り組み等</p>

読んで納得！ ヤクルトグループのCSR

ヤクルトグループのCSR情報が満載です！

知りたい。読んでみたい！ どちらのタイプ？

詳しく「まるわかり」したい！



ヤクルト CSRレポート2020

- 当社グループのCSR活動を体系的に知ることができます。
- 国内外のデータ等を盛り込み、具体的に記載しています。



P16-18

「ヤクルトCSR行動計画の目標と実績」

「ヤクルトCSR行動計画」に沿って、目標と実績を掲載し、SDGs(持続可能な開発目標)やESG(環境・社会・ガバナンス)との対応関係も明確にしています。



概要を「早わかり」したい！

ヤクルト CSRコミュニケーションブック2020

- 写真やイラストを多く用いて、CSR活動をわかりやすく紹介しています。



P11-16

「特集1～3」

「健康」「地域社会」「環境」の具体的な事例を特集しています。

▶ 特集1：健康

ヤクルトの健康経営の取り組みを特集しています。



◀ 特集2：地域社会

地域に密着した健康づくりの取り組みを特集しています。(2020年度はベトナム)



▶ 特集3：環境

各生産拠点の水資源保全活動を中心に特集しています。



■ Products Lineup

乳製品



▲ New Yakult
▲ New Yakult カロリーハーフ
▲ Yakult 400
▲ Yakult 400LT
▲ Yakult ファイブ
▲ 毎日飲む Yakult 365 (セブン&アイグループ限定)
▲ Yakult W
▲ Yakult (Yakult) 1000
▲ Yakult 400W (地域限定)

▼ミルミル



大腸ではたらくビフィズス菌 B Y 株を1本(100ml)に120億個以上含んだ、のむタイプのヨーグルトです。程よい甘さでスッキリとしたミルク味に仕上がっています。

▼ミルミルS



大腸ではたらくビフィズス菌 B Y 株を1本(100ml)に120億個以上含んだ、のむタイプのヨーグルトです。ガラクトオリゴ糖、食物繊維、コラーゲン、鉄、葉酸などが入っています。すっきりとしたヨーグルト味です。

BF-1 (ビーエフワン) ▼



◀プレティオ

GABA(γ-アミノ酪酸)を1本(100ml)に10mg以上含む、血圧が高めの方におすすめの乳製品乳酸菌飲料です。



▼Yakultのはっ酵豆乳



▼ジオア(1日分のカルシウム&ビタミンD プレーン、

1日分のカルシウム&ビタミンD ストロベリー、1日分のマルチビタミン ブルーベリー、1日分の鉄&葉酸 マスカット)

乳酸菌 シロタ株に加え、栄養素等表示基準値に基づく1日分の栄養成分がおいしく摂れる、確かな健康感を強化したのむヨーグルトです。



▼ジオア

(カルシウム&ビタミンD プレーン、鉄&葉酸 マスカット)

おいしく栄養成分が摂れる小容量(80ml)タイプです。



▼ソファール(プレーン、LT、ストロベリー、元気ヨーグルト)



▼アロエヨーグルト



▼1日分の鉄&葉酸ヨーグルト



清涼飲料



▲ヤクルト蕃爽麗茶



◀手軽に
蕃爽麗茶
(粉末タイプ)



▲爽涼健茶



▲タフマン (タフマン、タフマンV、タフマンスーパー、Tough-Man Refresh (タフマン リフレッシュ))



▲黒酢ドリンク



◀オリゴ糖入り
梅ドリンク

▼ぎゅっと健康
(アスタキサンチン、カシス、グルコサミン)



▼CHOBI
(チョコビ)



▼ヤクルトのおいしい
はっ酵果実



▲レモリア

▼ヤクルトの乳性飲料
ミルージュ
(Ca125、200、
ミルージュ (500ml))



▼ミルージュ



▼ミルージュ
ソーダ



▼ラックミー
(コーヒー、バナナ)



▼調製豆乳
国産大豆使用

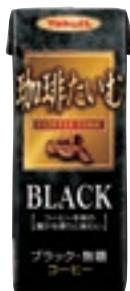


Products Lineup

清涼飲料



◀お茶



▲珈琲たいむ
(ミディアム、カフェラテ、ブラック)



▲カフェ・オレ



▲いちご・オレ



▲マイルド
カフェ・オレ



▲マイルド
いちご・オレ

▼きになる野菜

(100シリーズ: 菁沢野菜1日分、1食分の野菜 ポリフェノール、1食分の野菜 β-カロテン、白ぶどう&ほうれん草、アップル&キャロット、1食分のマルチビタミンマト&赤ぶどう)



▼野菜ジュース、野菜ジュース (食塩無添加)

▼トマトジュース (数量限定)

▼搾りたてにんじん (数量限定)

▼オレンジジュース、アップルジュース、パイナップルジュース、グレープフルーツジュース



▼完熟王林 (数量限定)



▼フルーツ青汁



▼さっぱりりんご



クイックチャージ▶



健康食品

毎日うれしい
ケールの青汁



◀ ごくごく飲める
大麦若葉 栄養アップ



◀ ハイパー
ケール

サプリズム
(コラーゲン、
ブルーベリー A、
グルコサミン、
DHA&EPA)



めん類

▼ 麺許皆伝
(しょうゆ味、みそ味、しお味、
とんこつ味、ソース焼そば)



▲ 佐賀の神埼
(そうめん、ひやむぎ、
中めん、うどん、そば)

▼ 乾麺物語
(とんこつしょうゆらーめん、カレーうどん、
汁なし担々麺、しょうゆらーめん、
魚介醤油つけ麺、冷し中華 (期間限定))



■ Products Lineup

医薬品

医療用医薬品



←カンプト



←エルプラット



←ゲムシタビン

その他



▲ヤクルトBL 整腸薬



▲アロエ便秘薬



▲アイのチカラ

化粧品

スキンケア



▲パラビオ



▲リベシホホワイト



▲プラチナケア
S.E.ローション



▲ヤクルト
ビューティエッセンス
ブリリアント
~ザ クリーム~



▲リベシ



▲ラクトデュウ

▼ビサイクル
リフトリペア
エッセンス



▲エジティックス
モイストリペア エッセンス

▼クリスタンス
ホワイトリペア エッセンス



▲パラビオ
ACクリーム
サイ

メイクアップ



▲パラビオ



▲グランティアEX

ヘアケア



▶ラミーヌ
S.E.

Globalizing the Yakult Network

現在、日本を含む40の国と地域で、
主として乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の製造・販売を行っており、
世界中で毎日4,000万人を超える方々(2021年3月期 1日平均販売本数4,015万本)に
ご愛飲いただいています。

【世界の販売本数】



海外：2020年1月～12月の1日当たり平均本数
日本：2020年4月～2021年3月の1日当たり平均本数

EUROPE

▶ 国と地域：13 
▶ 1日当たりの販売本数：67万本

ヨーロッパ地域

- オランダ
- ベルギー
- フランス
- イギリス
- ドイツ
- ルクセンブルク
- スペイン
- アイルランド
- オーストリア
- イタリア
- マルタ
- スイス
- デンマーク

THE AMERICAS

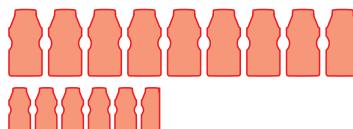
▶ 国と地域：6 
▶ 1日当たりの販売本数：544万本

米州地域

- ブラジル
- メキシコ
- ウルグアイ
- アメリカ
- カナダ
- ベリーズ

JAPAN

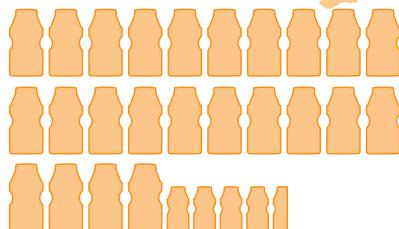
日本 ▶ 1日当たりの販売本数：958万本



ASIA AND OCEANIA

アジア・オセアニア地域

▶ 国と地域：20
▶ 1日当たりの販売本数：2,446万本



- 台湾
- 香港
- タイ
- 韓国
- フィリピン
- シンガポール
- ブルネイ
- インドネシア
- オーストラリア
- 中国
- マレーシア
- ニュージーランド
- ベトナム
- インド
- アラブ首長国連邦
- オマーン
- バーレーン
- カタール
- クウェート
- ミャンマー

株式会社ヤクルト本社



ヤクルト本社

本店: 1 研究所: 1

■支店: 5 ▲工場: 7

●販売会社 111社
(うち連結子会社 25社)

ヤクルトレディ 約 32,800人

ヤクルトビューティ 約 4,300人

●ボトリング会社 5社 (連結子会社)



【日本国内の連結子会社】

- 株式会社ヤクルトアセットマネジメント
- 株式会社岩手ヤクルト工場
- 株式会社千葉ヤクルト工場
- 株式会社愛知ヤクルト工場
- 株式会社岡山和気ヤクルト工場
- 株式会社福岡ヤクルト工場
- ヤクルト商事株式会社
- 株式会社ヤクルトマテリアル
- 株式会社ヤクルト球団
- ヤクルト食品工業株式会社
- ヤクルト薬品工業株式会社
- 株式会社ワイ・ビー・シー
- ヤクルトヘルスフーズ株式会社
- ヤクルトサポートビジネス株式会社
- 株式会社ヤクルトライフサービス
- 株式会社ホテルサン沖縄
- 株式会社ヤクルト・マネジメント・サービス
- 有限会社広島保険サービスセンター
- 株式会社はこだてわいん
- ヤクルトロジスティクス株式会社
- 南北海道ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト北北海道
- 大船渡ヤクルト販売株式会社
- 宮城中央ヤクルト販売株式会社
- 埼玉西ヤクルト販売株式会社
- 千葉県ヤクルト販売株式会社
- 東京ヤクルト販売株式会社
- 京北ヤクルト販売株式会社
- 湘南ヤクルト販売株式会社
- 北信ヤクルト販売株式会社
- 新潟中央ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト東海
- 岐阜ヤクルト販売株式会社
- 名古屋ヤクルト販売株式会社
- 愛知中央ヤクルト販売株式会社
- 三重ヤクルト販売株式会社
- 近畿中央ヤクルト販売株式会社
- 和歌山ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト北陸
- 福井ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト山陽
- 新広島ヤクルト販売株式会社
- 山口ヤクルト販売株式会社
- 中央福岡ヤクルト販売株式会社
- 沖縄ヤクルト株式会社

Information

会社概要

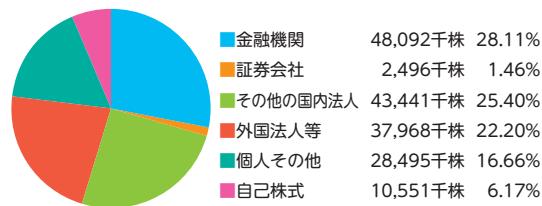
商号	株式会社ヤクルト本社 (Yakult Honsha Co., Ltd.)
設立	1955年4月9日
本店	東京都港区海岸1丁目10番30号
電話	03(6625)8960(大代表)
資本金	311億17百万円
従業員	2,874人

(注) 上記従業員数には、関係会社等への出向者300人および嘱託161人を含んでいます。

株式の状況

発行可能株式総数	700,000,000株
発行済株式総数	171,045,418株
株主数	36,184名

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



役員 (2021年6月23日現在)

代表取締役社長	成田 裕	取締役	平野 宏一	常勤監査役	山上 博資
取締役	若林 宏	取締役	安田 隆二	常勤監査役	川名 秀幸
取締役	石川 文保	取締役	福岡 政行	監査役	谷川 清十郎
取締役	土井 明文	取締役	前田 典人	監査役	手塚 仙夫
取締役	林田 哲哉	取締役	戸部 直子	監査役	町田 恵美
取締役	伊藤 正徳	取締役	新保 克芳		*非常勤
取締役	平野 晋	取締役	永沢 裕美子		
取締役	今田 正男				

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,104	7.08
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	7,562	4.42
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	6,492	3.80
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口	4,957	2.90
共進会	3,834	2.24
松尚株式会社	3,417	2.00
株式会社みずほ銀行	2,186	1.28
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	2,119	1.24
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー 505234	2,043	1.19
中村 輝夫	2,031	1.19

(注) 1. 共進会は、当社の取引先であるヤクルト販売社を会員とする持株会社です。上表のほか、当社は自己株式10,551千株を保有しています。
2. 中村輝夫氏は、2020年12月27日に逝去されましたが、名義書換未了のため、株主名簿上の名義で記載しております。

ホームページのご紹介

当社のホームページでは、会社情報、IR情報、商品情報、CSR活動などさまざまな最新情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さまに向けましては、トップメッセージ、決算短信、有価証券報告書のほかIRニュースなども掲載しております。ぜひご覧ください。



<https://www.yakult.co.jp/>

株主優待

毎年3月31日現在で100株以上ご所有の株主さま
当社商品詰め合わせを贈呈

- ※1,000株以上ご所有の株主さまは商品内容が異なります。
- ※ご所有期間3年以上の株主さまは「化粧品」を追加で贈呈します。
※商品発送は6月上旬の予定です。

毎年9月30日現在で100株以上ご所有の株主さま
東京ヤクルトスワローズオフィシャルファンクラブ
(スワローズクルー)にご入会いただける権利を
ご提供

- ※ご所有株数によってご入会いただける会員種別が異なります。
※ご入会についてのご案内は、12月上旬に発送予定です。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
株主総会	定時株主総会 毎年6月中 臨時株主総会 必要に応じ随時
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日

公告掲載方法 電子公告 <https://www.yakult.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京証券代行株式会社
事務取扱場所 〒101-0054
東京都千代田区神田錦町三丁目11番地
(NMF竹橋ビル6F)

(郵便物送付先)
連絡先 〒168-8522
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
東京証券代行株式会社 事務センター
☎0120-49-7009

株式に関する手続きについて

1. 未支払配当金のお支払い
株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。
2. 住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の指定など
お取引の証券会社等にお申し出ください。なお、特別口座に記録された株式の手続き(証券会社に開設した口座への振替など)に関しましては、すべて当社の特別口座管理機関である東京証券代行株式会社にお問い合わせください。



Yakult

株式会社ヤクルト本社

証券コード 2267

東京都港区海岸1丁目10番30号

TEL : 03-6625-8960(大代表) <https://www.yakult.co.jp/>

